

# ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク  
<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第244号  
 令和5年1月1日発行



ねんりんピックかながわ2022  
 令和4年11月12日～15日(神奈川県)  
 鹿児島県選手団の活躍  
 総合開会式 テニス ベタタンク  
 インディアカ ラグビー  
 サッカー ソフトテニス 総合開会式

新年のごあいさつ .....	2	福祉人材・研修センター	
長寿社会推進部		福祉の職場就職面談会のご案内 .....	8
あなたのまちのアクティブシニア .....	2	介護支援専門員実務研修受講試験結果 .....	8
ねんりんピックかながわ2022 .....	3	地域福祉部	
地域福祉部		老施協介護フォトコンテスト入賞作品決定 .....	9
令和4年度地域福祉推進大会開催報告 .....	4	九州社会就労センター研究大会開催報告 .....	9
生活支援部		介護実習・普及センター	
生活福祉資金貸付制度のご案内 .....	5	介護講座, 実施事業紹介 .....	10
ボランティアセンター		県共同募金会	
シニアボランティア講座 .....	6	共同募金運動報告 .....	11
ボランティアTシャツ・ポロシャツ		インフォメーション .....	12
購入のお礼と寄付の報告 .....	7		



# 新春を迎えて



社会福祉法人  
鹿児島県社会福祉協議会  
会長 布袋 嘉之



明けましておめでとうございませす。

皆様には、すこやかに令和五年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

発生から四年目となるコロナ禍の中、感染防止対策に留意されながら、それぞれの現場で、福祉サービスの提供をはじめとする業務推進に取り組んでおられる全ての福祉関係の皆様方の御尽力に、心から敬意を表します。

コロナ禍だけでなく、急速に進む少子高齢化、経済の変動や物価高、働き手の不足や格差の拡大、また、国際情勢の大きな変化など、近年、我が国社会や世界を取りまく環境は大きく変わりつつあります。

地域社会にあって、これらによる大きな影響を受けるとともに、人と人とのつながりの希薄化や孤立・孤独への対応、生活困窮への支援、福祉を支える人材の確保

など、喫緊の課題が山積しています。

そのような中で、我が国では、社会福祉だけではなく様々な分野で、制度の改革や新しい動きが起こりつつあります。私たちには、取りまく環境の変化や生起する新しい課題へのしなやかな対応が求められています。

新しい年を迎え、県社協では、このような動きをしっかりと踏まえながら、誰一人取り残さない多様性と包摂性のある『ともに生きる豊かな地域社会の実現』に向けて、これからも関係機関・団体の皆様と連携しながら、各般の取り組みを積極的に進めてまいります。

本年も、皆様方の変わらぬ御理解、御支援を賜りますようお願いいたします。

新しい年が、皆様にとって、より良き年となることを心よりお祈りいたします。

## あなたのまちのアクティブシニア

### 第31回シルバー文化作品展 鹿児島県知事賞受賞者紹介

#### 谷口 隆さん（霧島市・82歳）

谷口 隆さんは、令和4年9月に開催された第31回シルバー文化作品展において、栄えある鹿児島県知事賞を受賞されました。

谷口さんは、20年ほど前、62歳で自動車会社を退職されたのを機に、関西から地元の霧島市へUターンされ、それまで、絵を描いたことは全くなかったとのことですが、もともと絵を見るのが好きで、趣味の一環としてやってみようと思いつき、平成19年に霧島市の公民館講座で絵を習い始めたとのこと。

シルバー文化作品展には、その8年後の平成27年に初めて出品し、奨励賞、銀賞、金賞と、出品する度に受賞され、今回の知事賞受賞となりました。

そのほか、霧島市の『きりしま美術大賞展』や曾於市の『吉井淳一記念大賞展』にも積極的に出品され、数々の賞を受賞されています。

「絵を描き始めて15年、今では、絵を觀てもらえることが、励みになる、喜びになるようになった。絵を觀て前向きな気持ちになってもらえることを見聞きすると、非常に嬉しい気持ちになる。」とのこと。

平成29年からは、「絵画ボランティア」として、病院や施設へ作品を展示する活動を行っており、利用者の方に絵を楽しんでいただいています。

「絵は、人に觀てもらえることで生命が吹き込まれる。今後、様々な美術展に応募して、いろいろな人に觀て貰いたい。觀ていると心とむよな絵を描いていきたい。さらには、絵画ボランティア活動も続けていきたい。」との思いを熱く話されました。

受賞作「洋画「森の水鏡」は、令和5年度秋に愛媛県で開催される「ねりんピック美術展」に出品される予定です。



このコーナーではすこやか長寿社会運動を实践され、いきいきと社会参加されている団体・個人を紹介しています。



# 「ねんりんピックかながわ2022」が開催されました!

3年ぶりの開催となる第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会(ねんりんピックかながわ2022)は、昨年11月12日(土)から15日(日)までの4日間、神奈川県内15市4町で、「神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔」をテーマに開催されました。

鹿児島県からは卓球・テニス・ソフトボールなど23の種目に監督・選手176人、役員9人の総勢185人が参加しました。

全国から約1万人の参加がある中、本県選手の皆さんは、各種目において日頃の練習の成果を存分に発揮されるとともに、全国からの参加者や地元の方々と親睦を深めていました。

各種目の主な成績は次のとおりです。

## ● 優勝(1位)

- ・サッカー
- ・マラソン 外園 幸一さん(70歳以上 10km)
- ・水泳 小丸 公德さん(75歳~79歳自由形 50m、25m)
- ・将棋 小久保 毅さん 鮎川 哲朗さん(ブロック優勝)

## ● 準優勝(2位)

なし

## ● 3位

- ・ソフトテニス
- ・ソフトバレーボール
- ・水泳 宮永 逸子さん(65歳~69歳バタフライ 25m)
- ・水泳 福留 正人さん(60歳~64歳平泳ぎ 25m)



また、同大会の一環として開催された「ねんりんピック美術展」において、次の方々が入賞されました。

- <横浜市長賞> 写真の部  
「極寒のしらす漁」 函師 和代さん
- <金賞> 工芸の部  
「木田木木(乗用型木製玩具)」 日高 四郎さん
- <銀賞> 洋画の部  
「アテネ旧市街」 黒田 陽子さん



「極寒のしらす漁」



「木田木木  
(乗用型木製玩具)」



「アテネ旧市街」

2023年(令和5年)は、10月28(土)日から31日(火)まで愛媛県で開催されます。

# 令和4年度 鹿児島県地域福祉推進大会

大会テーマ：  
地域共生社会～我が事・丸ごとの地域づくり



令和4年度鹿児島県地域福祉推進大会が、10月28日(金)、川商ホール(鹿児島市民文化ホール)第1ホールにおいて、県内の福祉保健医療関係者約600名の参加のもと盛大に開催されました。大会においては、表彰式に続き、鹿児島大学法文学部法経社会学科准教授の金子 満先生による記念講演が行われました。

## ◇表彰

永年にわたり県内の福祉の充実のためご尽力をいただいた個人・団体に対する表彰が行われました。受賞された皆様方のご功績とご労苦に対し、深く敬意を表します。



県知事表彰



県社協会長表彰

### 《表彰内訳》

■ 鹿児島県知事表彰	107名、5団体
■ 鹿児島県社会福祉協議会会長表彰	262名、15団体
■ 鹿児島県共同募金会会長表彰	1名、20団体
■ 中央共同募金会会長感謝盾・感謝状伝達	感謝盾2団体、感謝状2名・8団体



被表彰登壇者



受賞者代表謝辞



会場の様子

## ◇記念講演

表彰式に続いて、鹿児島大学法文学部法経社会学科准教授 金子満先生により「みんなが元気になるコミュニティづくり～地域共生社会をめざして」と題した記念講演が行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、参加人数を制限しての開催でしたが、講演では、少子高齢化社会における世代間交流の重要性や、地域コミュニティをオーケストラに例え、「協働から響働へ」というお話があり、「ソロでは限界がある。カルテット、そしてシンフォニーへと…まさに地域コミュニティとは私たちがそれぞれの役目を担ったシンフォニーを奏でる響働の場だと思います。」とお話しになりました。

参加者からは、「今の地域の実情を反映させたお話でわかりやすかった。」「地域の中での役割を改めて考えたいと思った。」等の感想を聞くことができ、好評でした。



講師  
金子  
満氏



# 生活福祉資金のご案内



子どもの進学が決まったけど、学費や寮費はどうしよう。



困りごとがあるんだけど、どうしよう。  
(引越、葬儀、屋根の修理、福祉用具等)

## 相談



### <生活福祉資金貸付制度>

この制度は、対象者の自立をめざすことを目的とする貸付で、子どもの学校進学のための必要経費、住家の補修費用、冠婚葬祭等のための臨時的経費に対し、自立更生が見込まれる世帯へ対応するための資金貸付制度です。

詳しくはHPへ▶

※対象要件や貸付限度額がありますので、必ずお問い合わせください。



お近くの「**社会福祉協議会**」や地域の「**民生委員・児童委員**」へ相談を。

### 【新型コロナウイルス特例貸付は償還猶予ができます】

新型コロナウイルス特例貸付の償還(返済)が令和5年1月から開始されます。今回、災害で被災された方や病気を患っている等の理由で償還が困難な方は償還猶予の手続きができます。詳しくはHPへ▼

償還猶予の申請方法や対象要件、猶予期間等についてはお住まいの**市町村社会福祉協議会**または**生活困窮者自立相談支援機関**へお問い合わせください。



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 生活支援部 TEL:099-214-3701  
〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内

# シニアボランティア講座を開催して

高齢化社会の中、シニア層のボランティア活動への参画が期待されていることから、シニア世代の方々のボランティア活動への関心と参加を促すことを目的に、9月28日(水)鹿児島県社会福祉センター別館で令和4年度「シニアボランティア講座」を開催しました。

この講座は、ボランティアの意義や役割に関する講義、ボランティア団体の実演発表や具体的な実践事例紹介など、幅広くボランティア活動を学べるということで、県内各地から38名の参加がありました。コロナ禍の今、ボランティア活動も様々な影響を受ける中で、すべての発表者が情熱をもって活動をされている姿に、参加者一同、勇気やパワーをもらわれたようでした。



## 県社協ボランティアセンター 辻 健一所長の講義

「ボランティアの意義と役割について」という演題で、各種調査結果をもとにボランティア活動への参加傾向や心得、内容や種類などを講義しました。また、SDGsについての解説やボランティア活動への生かし方などについても紹介しました。



## 志布志市立図書館ボランティアグループ 代表 山元 一彦氏による実践事例紹介 I

平成9年に設立されたボランティアグループ「かみふうせん」は、毎週土曜日、本館や分館で「読み語り活動」をしたり、幼稚園・小学校等へ出かけて「読み語り」や「おはなしの会」をしたりしています。当日は、実際の「読み語り」や会の活動を紹介していただきました。



## ボランティア団体「鹿児島マジック愛好会」 会長 前平 喜久氏 他4名によるマジックショー

会員10名で月3回鹿児島県社会福祉センターで練習をしています。コロナ禍前は、施設等でマジックを披露していましたが、今は練習に重点を置いた活動をしています。当日は、5名の会員が素敵なショーを披露されました。



## 個人ボランティア(元花尾支え隊) 窪田 弘文氏による実践事例紹介 II

「花尾支え隊」は、地域の困りごとを支援してきましたが、隊員の高齢化などで本年3月に解散しました。しかし、住民からの要望が強いため、窪田さんは、その後もこの活動を継続されています。当日は「花尾支え隊」活動や現在の個人での活動の様子を発表されました。



## 県庁国体・全国障害者スポーツ大会局総務企画課 県民運動係 吉松 孝展氏による活動の場の紹介

新型コロナウイルス感染拡大による延期を経て2023年に開催される「鹿児島国体・全国障害者スポーツ大会」に全国から集まるトップアスリートの皆さんが、存分に力を発揮できるよう、また観戦に訪れる全国の皆さんが鹿児島の魅力を感じていただけるようにするため、シニア層の皆さんがお手伝いできるボランティア活動を紹介していただきました。







## 2022年度ボランティアTシャツ&ポロシャツ

### ご購入へのお礼と寄付のご報告

#### ～売上金の一部を活用した被災者支援の取組報告～



毎年、当センターが販売するボランティア活動啓発用Tシャツ・ポロシャツについて、日頃から多くの皆様にご愛用いただき感謝申し上げます。

今年も、皆様に御好評いただき、Tシャツとポロシャツ合計3,685着を御購入いただきまして、今年の販売を終了することができました。

同シャツの売上金については、当会の社会福祉事業はもとより頻発する自然災害による被災者支援にも活用しております。

今年度の被災者支援の取り組みとして、「令和4年8月3日からの大雨災害」及び「令和4年台風第15号災害」により被災された方の支援に役立ててもらうため、売上金の一部を以下のとおり寄付させていただきましたのでご報告いたします。

今後も同シャツの充実に努めてまいりますので、引き続きボランティア活動着や事務所スタッフユニフォーム等に御活用いただくと幸いです。

金額	寄付先	寄付内容
100,000円	中央共同募金会	令和4年8月3日からの大雨災害義援金
100,000円	静岡県共同募金会	令和4年台風第15号災害静岡義援金



県共同募金会へ寄付金を贈呈

令和4年度  
社会福祉施設  
総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます

ふくしの保険

検索

老人福祉施設、  
障害者支援施設、  
児童福祉施設などに

スケールメリットを活かした割安な保険料で  
充実補償をご提供します！

◆加入対象は、社協の会員である  
社会福祉法人等が運営する社会  
福祉施設です。

## プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険等)

### ① 基本補償(賠償・見舞)

保険期間1年

▶ 保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
お見舞い等	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時100万円 入院時1.5~7万円 通院時1~3.5万円

新型コロナウイルスを含む特定感染症に新たな補償が追加されました！

NEW 施設の感染症対応費用補償

休業補償から各種対応費用までワイドな安心

- ① 休業や縮小営業による収益減少はもちろん、収益減少を防止・軽減するための人件費なども補償
- ② 消毒・清掃費用や自主的なPCR検査費用など、かかった費用を幅広く補償
- ③ 感染症対応特別費用で定額20万円を早期に受取り

## プラン2 施設利用者の補償

## プラン3 職員等の補償

## プラン4 法人役員等の補償



●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、雇用慣行賠償責任保険、役員賠償責任保険、サイバー保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事  
保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

あなたの就職活動をお手伝いします!!お気軽にご参加ください

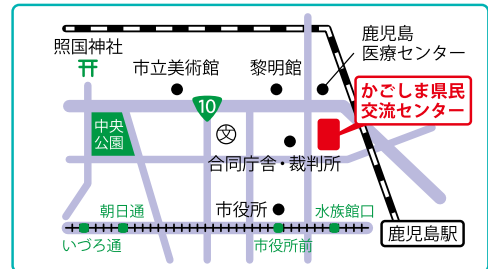
# 令和4年度 「福祉の職場 就職面談会」のご案内

**日時** 令和5年 **1月28日(土)**  
**10:00~16:00**

**場所** **かごしま県民交流センター**

(鹿児島市山下町14-50)

- ・介護職場シニア就職応援セミナー(4F研修室)
- ・就職面談会(2F大・中ホール)



○ **介護職場シニア就職応援セミナー** **10:00~12:00** (受付9:30~)

【対象】概ね55歳以上で、介護や介護の職場に興味・関心がある方(定員50名)  
【講師】社会福祉法人松恵会 特別養護老人ホーム松恵園 生活相談員 小原 努氏

○ **就職面談会** **13:00~16:00** (受付12:30~15:30)

(施設概要、仕事内容、採用条件等について、施設の人事担当者との個別面談会)  
(情報提供・資格取得等相談コーナーも同時開催)

○ **参加費** **無料** (事前申込が必要) 履歴書不要

○ **対象者** **福祉の職場への就職希望者**  
(一般の方及び大学・短大・専門学校生等)

※新型コロナウイルス感染症の影響で解雇・雇止めなどにより離職した方

○ **参加法人** **60法人(予定)** 参加法人の情報は、資料がまとまり次第、県社協HPで公開する予定です。

○ **主催** **鹿児島県・社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会**



**未経験者OK!**  
**無資格者OK!**  
**シニアの方もOK!**

**お申込み方法** チラシ裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、令和5年1月20日(金)までに持参または郵送、FAXでご提出ください。  
チラシがない場合はご連絡ください。

- ※荒天等のため開催できない場合もあります。直前に県社協ホームページ等で必ずご確認ください。
- ※ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。また、発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお控えください。
- ※障害のある方で配慮が必要な場合は、令和5年1月20日(金)までに下記(お問い合わせ先)へご連絡ください。

○お問い合わせ先 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター TEL099-258-7888 Fax099-250-9363

## 令和4年度 (第25回) 介護支援専門員実務研修受講試験結果について

介護支援専門員実務研修受講試験が、今年度は、令和4年10月9日(日)に実施されました。  
試験結果の詳細については、下記のとおりです。

**試験結果**

受験者数 . . . . . **1,130**人  
合格者数 . . . . . **174**人  
合格率 . . . . . **15.4**%

※合格者は、令和5年1月から3月に行われる実務研修を受講することにより、介護支援専門員として介護サービス計画作成等の実務に就くことができます。



一般社団法人 鹿児島県老人福祉施設協議会の取組み

— 介護現場からのメッセージ —

# 第11回 介護フォトコンテストかごしま

～ 支える手、支えてもらう想い、支えあうところ ～

介護現場の「感動」や「ふれあい」といった介護の魅力を発信することを目的に、一般社団法人 鹿児島県老人福祉施設協議会が第11回介護フォトコンテストかごしまを開催しました。一般部門に33施設から73作品、介護スタッフ部門に15施設から30作品の応募があり、県下11地域・10分野の職域の方々計50名がオンライン一次審査で各20作品を選出、11月18日の写真・美術デザインの専門家による二次審査会で各部門4作品の受賞者が選出されました。

オンライン一次審査



二次審査



こちらの2次元  
バーコードから  
もアクセスでき  
ます▼



受賞作品を同協議会ホームページ(<https://k-rousikyoo.com/>)で公開しておりますので、是非ご覧ください。

日々の介護の仕事の中で触れるご利用者の笑顔は、多くの介護現場職員にとって元気の源になっています。写真を通じて、そういった介護の魅力をお伝えできれば幸いです。



## 令和4年度 九州社会就労センター(セルフ)研究大会 開催

「変化の波を乗り切る力を」

～いきいきと働き安心して暮らせる環境の充実に向けて～

10月12日(水)、「令和4年度九州社会就労センター(セルフ)研究大会」をオンラインにより開催しました。「変化の波を乗り切る力を～いきいきと働き安心して暮らせる環境の充実に向けて～」をメインテーマに、九州ブロックの障害福祉サービス施設・事業所ならびに関係者173名の皆様にオンラインで御参加いただきました。



鹿児島県社協  
布袋 嘉之 会長



鹿児島県セルフ協  
松久保 和俊 会長

開会式典では、九州セルフ協 叶 義文 会長、県社協 布袋嘉之 会長、県セルフ協 松久保 和俊 会長による主催者挨拶、日本セルフセンター 高江 智和理 会長からの来賓祝辞に続き、九社連会長表彰の贈呈が行われ、被表彰者13名を代表してサン・ヴィレッジ始良(鹿児島県)の冨ヶ原 隆裕 様に授与されました。オンライン上でも温かい拍手が送られました。

大会では、全国セルフ協 阿由葉 寛 会長による基調報告の後、厚労省 津曲 共和 障害福祉課長より行政説明をいただき、最新の情勢を学びました。続いて、小国町社協(熊本県)宮本 祐児氏、うめの里(鹿児島県)徳盛 友太郎 氏より貴重な事例報告をいただき、コロナ禍で苦労が多かった参加者も大変勇気づけられました。次期開催地熊本県からの再会を誓う挨拶で幕を閉じました。



全国セルフ協議会  
阿由葉 寛 会長



厚労省 障害福祉課  
津曲 共和 課長



日置福祉会 うめの里  
徳盛 友太郎 氏

## 鹿児島県介護実習・普及センター 実施事業のご紹介



## 介護ロボット導入支援研修会



鹿児島県介護実習・普及センターでは、令和3年度から厚生労働省の事業である「介護ロボット相談窓口」を設置していますが、介護ロボット導入をお考えの介護施設を対象に、鹿児島県は9月2日(金)、沖縄県は11月6日(日)、熊本県は12月20日(火)に「介護ロボット導入支援研修会」を開催しました。参加者総数は、132名でした。本研修会は、近年の介護人材の不足や新型コロナウイルスの影響による介護現場での業務負担の増加を背景として、介護ロボットへの期待が高まっている状況の中、介護ロボットの円滑な導入のために取りまとめられたパッケージモデルを基に現場の課題と対応する介護ロボットの選定、導入時の留意事項、効果等について理解を深めていただき、介護ロボットの導入を支援するために開催するものです。来年度も「介護ロボット導入支援研修会」を開催する予定ですので、ぜひご参加ください。

## 楽しく学べる介護講座(1月~2月)

講座名	日時	内容	受講料
介護職スキルアップ研修 (体位変換・ポジショニングケア)	1月20日(金) 10:00~16:00	○褥瘡の基礎知識 ○座位・寝姿勢別体位変換、ポジショニング方法 ○車いすのシーティング方法	4,000円
介護ロボット体験講座	2月2日(木) 10:00~15:00	○介護ロボットの効果的な利用 ○介護ロボットの操作体験	無料

(会場は、すべて「かごしま県民交流センター」です。)

## お問い合わせ先

**鹿児島県介護実習・普及センター** (運営: 社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号 かごしま県民交流センター 2階

TEL 099-221-6615・6616 FAX 099-239-0384

E-mail [kaigo-kakenshakyo@po5.synapse.ne.jp](mailto:kaigo-kakenshakyo@po5.synapse.ne.jp)

【利用時間: 9:00~17:00 休館日: 月曜日(※祝日の場合は翌日), 12/29~1/3】



- ※ 掲載の講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、中止または延期となる場合がありますので、ご了承ください。
- ※ 県民向け・専門職向け研修・講座や福祉用具専門相談員養成研修等、令和5年度当センター主催の研修・講座につきましては、新年度リーフレットや本会ホームページ<http://www.kaken-shakyo.jp>内の「介護実習・普及センター研修・講座」ページで、3月下旬にお知らせいたします。また、認知症介護実践者研修等については本会ホームページのみのお知らせになります。ご確認ください。



県共同募金会からの  
お知らせ



じぶんの町を良くするしくみ

# 赤い羽根共同募金

皆様のご支援に感謝します！



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

76回目となった令和4年度共同募金運動は10月1日から実施され、県内各地で多くのボランティアの皆様へたいへんご尽力いただき、県民の皆様からも温かい善意が寄せられておりますことに心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えないなか、地域ではさまざまな課題を抱える方々への支援が求められており、共同募金の役割は一層重要なものとなっております。

今後とも、赤い羽根共同募金へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



## NHK 歳末たすけあいへのご協力ありがとうございました

毎年12月にNHKとの共催で実施しているNHK 歳末たすけあいでは、12月5日にNHK鹿児島放送局でオープニングセレモニーを実施し、鹿児島市内の幼稚園の児童から県共同募金会会長へ寄付金を手渡されました。

皆様からの寄付で県内の児童福祉施設や、グループホームで生活している障がい者の方々などへ品物をお贈りしました。

施設で暮らしている子どもたちや、グループホームで生活している方々にとって、毎年届けられる温かい贈り物は何よりの楽しみとなっています。今年も皆様からお寄せいただいた温かいご支援に心より感謝申し上げます。



### お問い合わせ先

鹿児島県共同募金会  
〒890-8517鹿児島市鴨池新町1-7(県社会福祉センター内)  
TEL 099-257-3750 FAX 099-259-4068

最新の情報はこちらから ▶



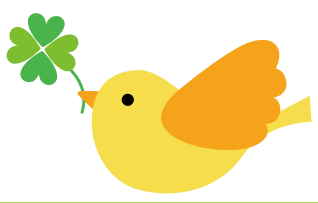
ツイッター



ホームページ

# インフォメーション

information



## みなさまのご厚意に感謝いたします。

次の方々から、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。(令和4年9~11月)

### ○鹿児島信用金庫 様



鹿児島信用金庫様が今年10月1日に創設100周年を迎えられたことを記念して、100周年の記念事業であります「yell(エール)100」において、日頃お世話になっている地元企業や地域の団体、県民の皆様への感謝を含めて、鹿児島県社会福祉協議会へご寄付をいただきました。  
令和4年10月24日

鹿児島信用金庫理事長 中俣義公様(左側)  
鹿児島信用金庫 役員室にて

### ○株式会社GIVER 多機能型事業所さわやか 様



「はり・きゅうマッサージの在宅訪問支援事業」と「児童発達支援事業」の2つの事業に取り組まれている「株式会社GIVER 多機能型事業所さわやか」様から、社会福祉事業や福祉の研修教育等に役立ててほしいと寄附金をいただきました。

令和4年11月7日  
株式会社GIVER 多機能型事業所さわやか  
代表取締役 早水丈治様(右側)  
多機能型事業所さわやか にて

※写真撮影に際しては、撮影の時間だけマスクを外してもらいました。

## 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和4年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
**コチラ**  
(ふくしの保険ホームページ)



### 保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術	入院中の手術	65,000円	
	保険金	外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 <sup>(*)</sup>	初日から補償	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○
	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

### <基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。



**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険) | **送迎サービス補償** (傷害保険) | **福祉サービス総合補償** (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

**団体契約者** 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**  
 <引受幹事> 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 <保険会社> TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

**取扱代理店** 株式会社 **福祉保険サービス**  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

広報紙「ふくしのひろば」は  
本会のホームページでもご覧になれます。  
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779  
 E-mail [soumu4@kaken-shakyo.jp](mailto:soumu4@kaken-shakyo.jp)  
 ★この広報紙は、共同募金の助成を受けて発行されています。

(SJ21-10723より抜粋して作成)